

<p>除草剤 イマズスルフロン・カフェンストロール・ダイムロン粒剤</p> <h1 style="text-align: center;">クラッシュ<sup>®</sup>EXジャンボ</h1>	<p>農林水産省登録 第20407号 (住友化学(株)登録)</p> <p>性状: 類白色細粒 水溶性パック入り 毒性: 普通物(毒物及び劇物に該当しないものを指すという通称) 危険物: 非該当 有効年限: 3年 包装: (50g×10)×10</p>
--	--

有効成分: イマズスルフロン(化管法第1種)・・・1.8%  
 カフェンストロール(化管法第1種)・・・4.2%  
 ダイムロン・・・20.0%

除草剤分類 **2, 15, 0**

クラッシュ<sup>®</sup>は住友化学(株)の登録商標です。

<p><b>特長</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○イマズスルフロンに、ノビエに対し高い効果を示すカフェンストロールと、ホタルイなどのカヤツリグサ科雑草に安定した効果を示すダイムロンを混合した初期一発処理除草剤です。</li> <li>○水溶性のKCL(塩化カリウム)を担体に使用し特殊製剤技術で製造した細粒状の自己拡散型除草剤を、水溶性フィルムで50gずつパックした投げ込み型のジャンボ剤です。</li> <li>○水田に入らず畦畔から手散布できます。散布器具が不要で、水田に入らず畦畔からパックを手で投げ入れるだけの省力散布ができます。</li> <li>○拡散性に優れた製剤です。自己拡散力に極めて優れた細粒を水溶性フィルムでパックしたジャンボ剤です。そのため、処理後はパックのフィルムが速やかに溶けて中身の細粒がいったん田面に沈み、数分で水面に浮上、崩壊しながら田面水中を広く拡散し、水田全体に十分な効果を発揮します。</li> <li>○広範囲の雑草に対して除草効果が高いです。ノビエをはじめとする水田一年生雑草およびマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリ等の多年生雑草に高い効果を示します。また、アオミドロ、表層はく離にも効果が認められます。</li> <li>○残効性が長く、長期間雑草の発生を抑えます。</li> <li>○パックした製剤のため薬剤に直接触れることがなく、また、散布時に散布者や周辺への飛散の心配がほとんどありません。</li> </ul>
---

**適用雑草名及び使用方法**

作物名	適用雑草名	使用時期	使用土壌	10アール 当り 使用量	本剤の 使用 回数	使用方法	適用地帯	イマズスルフロンを 含む農薬の 総使用回数	カフェンストロールを 含む農薬の 総使用回数	ダイムロンを 含む農薬の 総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道、北陸) ヒルムシロ (北陸を除く) セリ アオミドロ・藻類に よる表層はく離	移植後3日～ 移植後12日 (ノビエ 2葉期まで)	壤土～ 埴土	小包装 (パック) 10個 (500g)	1回	水田に 小包装 (パック) のまま投げ 入れる。	東北	2回以内	1回	3回以内 (育苗箱散布は 1回以内、本田 では2回以内)
		移植後3日～ 移植後15日 (ノビエ 2葉期まで)					北海道			
		移植後3日～ 移植後12日 (ノビエ 2葉期まで)					北陸			
		移植後3日～ 移植後10日 (ノビエ 2葉期まで)					関東以西の 普通期 及び早期 栽培地帯			

**使用上の注意事項**

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2葉期までに時期を失ないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に使用するようご注意ください。ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリは2葉期まで、ヘラオモダカは発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始まで、アオミドロ表層はく離は発生前までが本剤の使用適期です。
- 藻類または表層はく離の発生しやすい水田では、有効な剤との組み合わせで使用してください。
- 田植え前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用することをおすすめします。
- 苗の植え付けが均一になるように整地、代かきは丁寧に、ワラくずなどの浮遊物はできるだけ取り除いてください。また、未熟有機物を施用した場合は特に丁寧にしてください。
- 処理に当っては、水の出入りを止めて5～6cmの湛水状態に保ってください。処理後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにし、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。自然減水により田面の一部が露出するようになったら、水尻を止めて通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じてください。
- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使い切ってください。
- 本剤は小包装(パック)のまま、10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 藻や浮き草が多発している水田では、拡散が不十分となり効果の劣る可能性があるため使用をさけてください。
- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください。
- 以下のような条件では被害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。特に、処理時または処理後数日以内に異常高温が重なる場合は、初期生育の抑制が顕著になるので注意してください。
  - 砂質土壌の水田および漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)。
  - 軟弱な苗を移植した水田。
  - 極端な浅植えの水田。
- 梅雨期等、処理後に多量の降雨が予想される場合には、除草効果が低下することがあるので使用をさけてください。
- いぐさ、れんこん、セリ、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。

- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 本剤を使用した水田の田面水は、他作物の灌水に用いないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

#### 安全使用上の注意事項

- 濡れた手で触らないでください。
- 水溶性フィルム包装が破袋した場合は以下の点に注意してください。眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 袋の中身のバックは強く圧するとフィルムが破れるおそれがあるので注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

#### 水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう注意して使用してください。

#### 保管に関する注意事項

- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。
- 吸湿性があるので湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を堅く閉じて保管してください。